

平成22年度

登録左官基幹技能者認定試験問題（60分）

東海ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題（四肢択一法）

3. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
- (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- (3) 本冊子は、表紙を含めて10頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
- (4) 試験開始の合図で始めてください。
- (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
 - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
- (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

問題1 左官技能者の労働環境に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 国土交通省は、1995年建設産業政策大綱の中で、その基本目標を1級左官技能士の育成を積極的に行うこととし、登録左官基幹技能者の確保をするためのシステムを打ち出した。
2. 日本の左官工事業をとりまとめている専門工事業団体の（社）日本左官業組合連合会は、2004年より左官基幹技能者の教育を全国10ブロックで開催している。
3. （社）日本左官業組合連合会の設立は昭和32年（創立は昭和12年）であり、その当時の左官工事の従事者数は、49,268人であった。
4. 現在では、建設現場の施工法の主なものが、湿式工法から乾式工法等のプレファブリケーションへと移行し、右肩下がりに減少し、平成18年の左官工事の従事者数は、74,352人になった。

問題2 基幹技能者の意義に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設工事の品質確保・生産性の向上には、直接生産活動に従事する技能者の役割が極めて重要である。
2. 基幹技能者は、未熟練な技能者でも、ある一定の管理能力さえあれば技能者のリーダーとして認められることから、誰にでもなることができる。
3. 基幹技能者とは、施工管理技術者（現場監督）や設計者等に技術提案を行うことのできる上級職長のことである。
4. 基幹技能者は、一般の技能者の指示・統率を行う。

問題3 建設業法に基づく建設業の許可に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 特定建設業では、営業所ごとに1級建築士や1級建築施工管理技士等の資格・経験を持つ技術者を専任で置かなければならない。
2. 建設業を二つ以上の都道府県に営業所を設けて営業しようとする者は、国土交通大臣の許可が必要である。
3. 一般建設業では、営業所ごとに1級左官技能士などの技能検定資格を持つ技能者を、専任で置かなければならない。
4. 一つの都道府県に営業所が限られている者は、都道府県知事の許可が必要である。

問題4 建設業法に基づく建設業の許可に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設業者は、下請の場合のみ、建設工事を施工するときは、工事現場に主任技術者を置かなければならない。
2. 特定建設業者が、元請となって発注者から直接建設工事を請負った場合において、3,000万円（建築一式工事の場合は、4,500万円）以上を下請に出すときは、主任技術者ではなく、工事現場に監理技術者を置かなければならない。
3. 主任技術者または監理技術者は、公共性のある工作物に関する重要な工事（請負代金額が2,500万円以上。建築一式工事の場合は、5,000万円以上。）については、工事現場ごとに専任でなければならない。
4. 主任技術者および監理技術者は、建設工事を適正に施工するため、建設工事の施工計画の作成、工程管理、品質管理その他の技術上の管理、施工従事者の技術上の指導監督の職務を誠実に行わなければならない。

問題5 下記の文章を良く読み、労働安全衛生法上、最も不適当なものを一つ選びなさい。

ある建設工事現場では、元請業者（ゼネコンA：社員12人）の協力業者1（一次下請B：社員50人）、協力業者2（一次下請C：社員20人）、協力業者3（一次下請D：社員5人）というチームを構成していた。

1. ゼネコンAは、統括安全衛生責任者、元請安全衛生管理者、安全衛生推進者を選任しなければならない。
2. 一次下請Bは、安全衛生責任者、安全管理者、産業医、作業主任者、職長を選任しなければならない。
3. 一次下請Cは、安全衛生責任者、安全衛生推進者、作業主任者、職長を選任しなければならない。
4. 一次下請Dは、安全衛生責任者、作業主任者、職長を選任しなければならない。

問題6 VE(バリュー・エンジニアリング)に関して、最も不適当なものはどれか。

1. VEの定義は、最低の総コストで必要な機能を確実に達成するため、組織的に製品、またはサービスの機能の研究を行う方法である。
2. VEの究極のねらいは、研究を通して、顧客の立場で製品やサービスの価値に関する問題を探究し、価値を高めることである。
3. VEの価値は、それを使用して得られる使用価値と、所有することで得られる貴重価値の2つをいい、価値の大きさは、施工者の立場で判断される。
4. 顧客の認める価値は、その“もの”の持っている働き（機能）が一つの尺度となる。

問題7 VE(バリュー・エンジニアリング)の作業方法に関して、最も不適当なものはどれか。

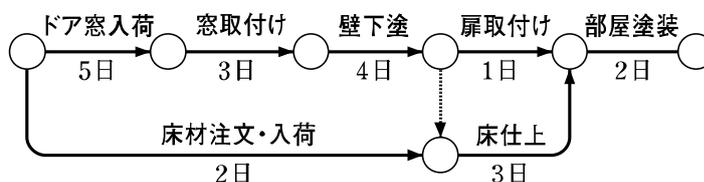
1. 今までのやりかたが絶対正しいとは考えず、常により良い方法を考える。
2. その作業は何のために行うのか、現状で良いのか、などについて、現場の変化に対応できるよう、常に先を見ながら積極的に改善に取り組む。
3. 現在の作業方法について、過去の経験・知識をもとに、広い視野で危険または有害要因はないかを考える。
4. 作業員が、現在の作業方法について、「やりにくい」、「疲れやすい」、「気に入らない」などの不満が多いほど活発な意見が出る。

問題8 VEを実施するためのブレインストーミング(BS)に関して、最も不適当なものはどれか。

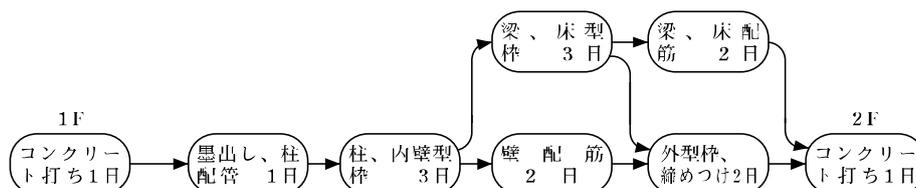
1. BSは、自由奔放に発想することから、画期的・独創的なアイデアが誕生することが多い。
2. BSは、自由奔放に発想することが良いとされており、常識・経験・理屈はBSと無関係である。
3. BSのルールは、他人の意見を批判することなく、アイデアを数多く出し、自由奔放に発想することが最も重要とされている。
4. BSは、他人の意見やアイデアに自分の考え方を便乗させ、応用して組み合わせたり、便乗すること等を発展させないほうが良い。

問題9 以下に示した工程表や用語・記号の説明に関して、最も不適当なものはどれか。

1. この工程表は、アロー型ネットワークである。

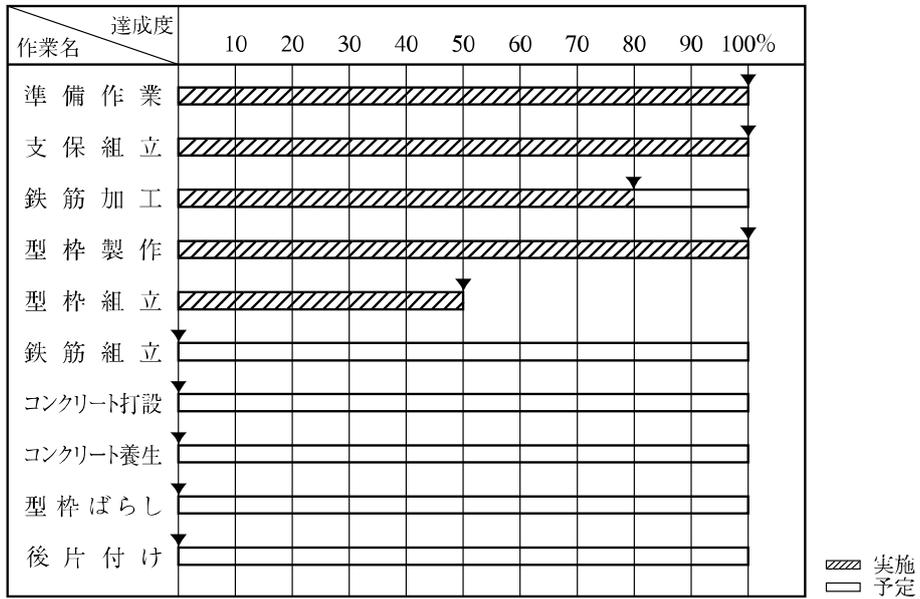


2. この工程表は、曲線式工程表を示したものである。

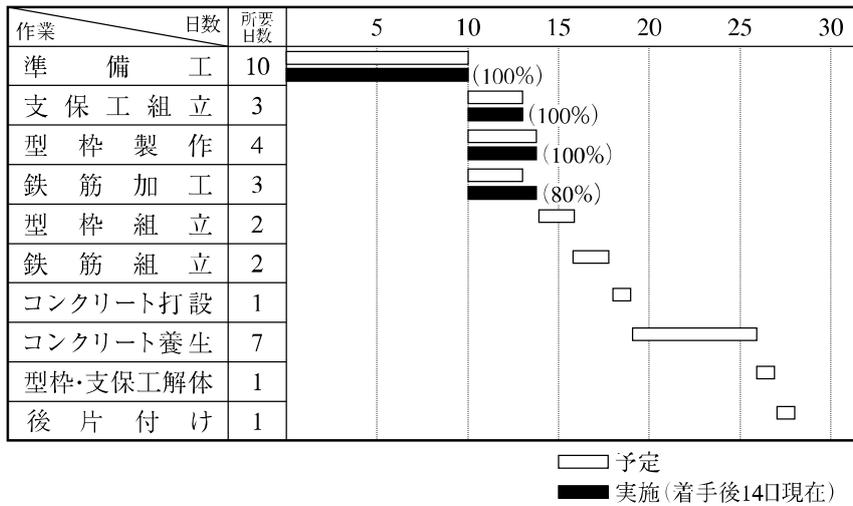


3. この工程表は、ガントチャート式工程表である。

床版橋工事工程表



4. この工程表は、バーチャート式工程表である。



問題 10 労働安全に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設業の労働災害による年間の死傷者数は、昭和 50 年代前半の 10 万人から徐々に減少し、平成 18 年には 5 万人になっている。
2. 死亡者数のみをみると、昭和 50 年代前半 1,500 人前後であったものが平成 9 年には、1,000 人を下回り、平成 18 年には 508 人へと減少している。
3. 全産業に占める割合は、建設業の就業者が約 10%であることを考えると、近年でも死傷者数は全産業の 23%前後、死亡者数は 35%前後を占めており、建設業が他産業に比べ、依然高い割合を占めている。
4. 昭和 22 年に新憲法のもとで労働基準法が制定され、その後昭和 47 年には、労働安全衛生法が制定され、職場の安全衛生は大きく進展した。

問題 11 安全管理に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 安全管理とは、事業の運営に伴う災害の絶無を期して、経営者の行う合理的、組織的な一連の施策をいう。
2. 労働災害を防止するためには、その発生原因となる事故、すなわち「エネルギーの暴走現象」および「エネルギーと人体の衝突作用」を防ぐ必要がある。
3. 安全とは、広辞苑によると「安らかで危険のないこと」とされており、周囲からあらゆる危険を取り去り、安らかな生活を送れることである。
4. 人が労働する目的は、労働力を提供して、その代償（賃金）をえることであり、また労働を通して自分の家庭のために貢献することである。

問題 12 安全衛生教育の種類における法定教育に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 経営首脳者に対する教育
2. 新規雇入者に対する教育
3. 職長に対する教育
4. 労働災害の再発を防止する教育

問題 13 移動式クレーンの運転の有資格者による就業制限に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 吊り上げ荷重 5 トン以上では、移動式クレーン運転免許が必要である。
2. 吊り上げ荷重 10 トン以上では、移動式クレーン運転技能講習の受講および移動式クレーン運転免許の両方が必要である。
3. 吊り上げ荷重 1 トン以上 5 トン未満では、小型移動式クレーン運転技能講習の受講および修了が必要である。
4. 吊り上げ荷重 1 トン未満では、特別教育の受講および修了が必要である。

問題 14 安全衛生教育のすすめ方に関して、最も不適当なものはどれか。

1. Off-JT とは、職場外教育のことである。
2. OJT とは、職場教育のことである。
3. 建設工事における OJT とは、現場で行う集合教育のことをいう。
4. 集合教育は、Off-JT のひとつである。

問題 15 原価意識の生産性を理解することに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 労働生産性を抑える。
2. 資本生産性を高める。
3. 付加価値を生み出す。
4. 人件費は労働配分でつかむ。

問題 16 施工管理の 3 大要素に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 環境保全管理
2. 原価管理
3. 品質管理
4. 工程管理

問題 17 工事現場における揚重計画に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 揚重機器の荷重制限、寸法制限を把握し、資材の大きさ、重量、数量等から荷姿、梱包方法を検討する。
2. 資材によってどの揚重機器が最適かを検討する。
3. 梱包材の搬出は特に考えなくて良い。
4. 揚重機器の効率を考えて計画する。

問題 18 左官工事に要求される品質管理に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 仕上げ面が平坦であること（真壁では、ちりがそろっている等）。
2. 仕上げ面の状態（色調平滑度または粗面度）が全壁面に関して一様であること。
3. 所定の厚さを保っており、必要な強度を有すること。
4. 設計上要求される耐火、作業性、防水、遮音、吸音、断熱、湿温調節などの性能を備えていること。

問題 19 塗り壁の故障の組み合わせに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 施工後高熱を受ける — ひび割れ・硬化不良 — 防熱養生する
2. 風化したセメント — 硬化不良 — 調合を変える
3. 下地の振動 — ひび割れ — 剛性を与える
4. 一度に沢山塗り付ける — ひび割れ — つけ送りを行う

問題 20 劣化のメカニズムの記述に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 劣化の要因は、躯体コンクリートとモルタル部界面の間隙で、異種材料同士の接着層間に発生する局部応力と、接着強さのバランスに原因があるとされる。
2. 相対ムーブメントとは、コンクリートおよびモルタルと異なった材料からできているため、その境界面では当然異なった変形挙動がおきることをいう。
3. 熱冷ムーブメントとは、塗られたモルタル等に太陽の直射熱や、昼と夜の繰返しの温度変化に伴って伸縮、反り等の変形挙動がおきることをいう。
4. 乾湿ムーブメントとは、塗られたモルタル等に室内結露や塩分の影響で乾燥と湿潤の相互の繰返し変化による伸縮、反り等の変形挙動がおきることをいう。

問題 21 木造の外壁モルタルにおける防水テープの記述に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 防水テープは、手でこすりつけて張る。
2. 貫通孔等の周囲は、防水テープを用いて防水紙を密着させる。
3. 窓台に先張り防水シートを用いた場合には、シート部分に防水テープを張らなくて良い。
4. サッシに防水テープを張る場合は、サッシの下 — 横 — 上の順にする。

問題 22 外壁通気構法の記述に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 構造体の軸組と外壁材の間に通気層という空気が流れる層をつくる。
2. 最下部の換気口から空気を取り入れ、軒裏や棟換気から空気を排出する。
3. モルタルの外壁通気構法には二層下地と単層下地がある。
4. 空気は送風機によって機械的に流通させる。

問題 23 自主検査の記述に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 管理値、管理基準の要点の内容を守り、設計図書と施工計画書に適合しているか自主検査記録等を行う。
2. 使用材料等は、事前に見本帳等で確認を行い、施工後に、工事材料搬入報告書にて報告する。
3. 使用材料等で見本帳、製品カタログ等がある場合は、施工計画書に添付する。
4. 設計図や各種仕様書に規定された数値を目標に施工を行う。

問題 24 登録左官基幹技能者が行っている仕事や教育の方法と内容に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 現場の施工管理技術者に対する左官の施工方法等に関わる技術提案を行う。
2. 他職種との作業間工程に配慮した連絡や調整を行う。
3. 部下の左官技能者に対する作業手順の構成や指示を行う。
4. 部下には、仕事を見て覚えさせることをきちんと理解させる。

問題 25 部下とのコミュニケーションが上手になる方法に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 何か物事を要求したり指示したりする際には、具体的な裏付けを持って話す。
2. 自分の立場のみに重点を置いた話し方は慎む。
3. 朝礼暮改があった場合、その旨は告げずにその場で自身で解決する。
4. 上司の命令を適切に伝えるための取次伝達的な言い方は避ける。